

第35回 地域の声委員会の概要について

第35回地域の声委員会では、平成26年度第4四半期に皆さまからいただいた声について、しっかりと分析するとともに今後の広報活動等に反映できるよう検討しました。

皆さまからいただいた声を真摯に受け止め、発電所の安全対策を着実に進めるとともに、迅速かつ正確な情報公開について努めてまいります。



地域とともに

東京電力

柏崎刈羽原子力発電所

地域の皆さまから、204件の“声”をいただきました

(平成26年度第4四半期)

発電所見学会でいただいた声、当社社員による訪問活動でいただいた声、発電所にお電話をいただいた声、広報誌「ニュースアトム」等の添付ハガキによるご返送の声など、多くのご意見・ご要望をいただきました。

【いただいた主な声】

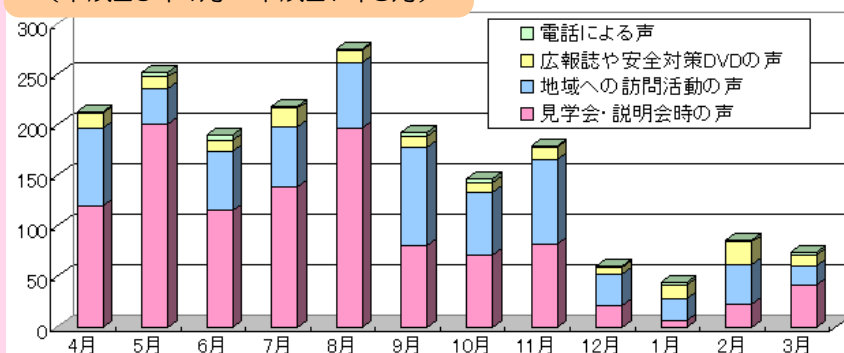
- ・見学会により発電所で取り組んでいる安全対策を理解できた。現場で働いている方々の努力がわかった。
- ・様々な対策に取り組んでいると思うが、それらが震災・津波発生時に本当に役に立つか心配。
- ・原子力に対して様々な意見があると思うが、開かれた雰囲気で見学への対応や意見交換に力を入れてほしい。
- ・技術の継承が心配。原子力の優秀な技術者は、原子力産業に留まってほしい。
- ・福島第一の収束が第一。4年経つのに何とかならないのか。東電は賠償も含めて福島に十分対応していかなければならない。

【今後の活動方針】

いただいた声をもとに、引き続き、以下の点に取り組んでまいります。

- 真摯な「広聴」を実施してまいります。
- 丁寧な訪問活動を実施してまいります。
- サービスホールでの展示館のご案内などを開催してまいります。
- 地域の皆さまからのご意見やご質問にお答えすることで、ご不安の解消に取り組んでまいります。
- 皆さまからいただいた声は、発電所と本店で共有し、広報活動等に活かしてまいります。

いただいた声の件数
(平成26年4月～平成27年3月)



皆さまからいただいた声を今後の広報活動等に役立ててまいります。